

トピックス

定置網にウルメイワシが大量水揚げ

伊豆東岸地区の定置網でウルメイワシが大量に水揚げされました。

9月頃から漁獲量が増え始め、11月には70.2トンとなり、11月としては記録が残る1982年以降で最多となりました。

また、年間漁獲量は131トンで、2011年以来の高い水準となりました。

ウルメイワシはまき網や定置網などで漁獲され、丸干しなどの干物原料になりますが、鮮度が良いものは刺身や塩焼きで食べると美味しい魚です。大量に水揚げされていた11月には、近所のスーパーにも伊豆産のウルメイワシが並んでいました。

このほか伊豆東岸地区の定置網では南方系の魚であるタカサゴ(グルクン)の仲間やカタボシイワシなども見られるなど、近年定置網に入網する魚種や量に様々な変化がみられています。この先どのような変化が起こっていくのか注意深く見ていく必要があります。

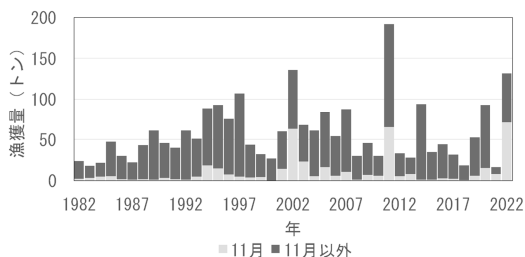


図 伊豆東岸地区定置網におけるウルメイワシの漁獲量の推移(左)と水揚げされたウルメイワシ(右)

(岡田裕史)